



Chance 地銀共同化行による太陽光発電事業向け プロジェクトファイナンスへの参加について

百十四銀行（頭取 渡邊 智樹）は、合同会社岩国ソーラーが実施する太陽光発電事業向けプロジェクトファイナンスへの総額 45 億円の協調融資（シンジケートローン）に平成 29 年 3 月 13 日付で参加しましたので、お知らせいたします。

本事業は、合同会社岩国ソーラーが山口県柳井市阿月の旧ゴルフ場跡地を有効利用し、11.8MW 規模の太陽光発電プロジェクトの開発および運営を行うものです。

シンジケートローンは、株式会社山口銀行（頭取 吉村 猛）がリード・アレンジャーとなり、株式会社百十四銀行、株式会社常陽銀行（頭取 寺門 一義）、株式会社十六銀行（頭取 村瀬 幸雄）および株式会社南都銀行（頭取 橋本 隆史）がコ・アレンジャーとなり組成したものです。山口銀行とコ・アレンジャーの 4 行は、勘定系・情報系の基幹システムを共同利用する「Chance 地銀共同化行（※）」として広域連携しており、Chance 地銀共同化 5 行で山口県で行う事業に対してシンジケートローンを組成するのは初の取組みとなります。

記

1. プロジェクト概要

事業者	合同会社岩国ソーラー
事業内容	太陽光発電事業
事業地	山口県柳井市阿月 ^{あつき}
発電出力	11.8MW

2. シンジケートローン概要

アレンジャー	山口銀行
コ・アレンジャー	百十四銀行、常陽銀行、十六銀行、南都銀行
エージェント	山口銀行
契約締結日	平成 29 年 3 月 13 日
組成金額	45 億円

Chance 地銀共同化行は、平成 27 年 12 月に「地域インフラ推進協議会」を設立しており、平成 29 年 1 月には再生可能エネルギーなど地域経済の活性化に資するインフラ投資促進に関する取り組みの一環として、再生エネルギーファンドも組成しております。

百十四銀行は、今後も地域の再生可能エネルギーの発展に積極的に関与し、様々な面から地方創生に貢献してまいります。

（※）Chance 地銀共同化行について

三菱東京 UFJ 銀行の勘定系・情報系などの基幹システムを基に構築した「Chance 地銀共同化システム」を共同利用する地銀の広域連携。現在、常陽銀行、百十四銀行、十六銀行、南都銀行、山口フィナンシャルグループが参加しています。

以上